

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
安八町	牧地区	令和3年3月19日	令和3年3月19日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	125.52 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	79.99 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	3.63 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.17 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.00 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	6.00 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

牧地区の水田については法人経営体がほぼ全ての農地を耕作しており、担い手は足りている。畑については1任意組合が中心的に耕作しているが、農家が減少してきており、対策が必要。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

水田については既にほぼ集約されているが、今後農地の貸付希望があった場合は、認定農業者である1法人に集約していく。畑については1任意組合を中心に集約していく。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

・農地の貸付け等の意向

水田に関しては、現時点で1法人にほぼ集約されており、今後も継続していく。
畑に関しては1任意組合に集約を進めていく。

・担い手の確保

畑作については、新たな担い手確保を目指し、町・農業委員会・JA等が地区の状況に応じて積極的に支援を行っていく。

・農地中間管理機構の活用

現在は利用権設定が多いが、順次中間管理機構に変更していく。